

第9回 小学校再編に関する地域住民説明会（坂野小学校区） 概要

- 日 時 : 平成30年8月6日（月） 19時開始
- 場 所 : 坂野小学校 3階 音楽室
- 参 加 者 : 12名
- 教育委員会 : 吉岡教育長 他7名
（事務局）
- 内 容 : 1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 教育委員会職員紹介
4. 配布資料確認
5. 説 明
① 小学校再編に向けて
② 小松島市立学校再編基本計画（案）
③ 学校施設の利活用
6. 質疑・応答（意見交換）
7. 閉 会

地域・保護者等から出された主な意見と回答

○「児童が減少している」という問題に関しては、教育委員会そのものの問題ではないと思うが、減少しているというのは、結果論で川下の話だと思う。川上の話は何かと言うと、人口減少の前に人口が流出していることが問題として大きい。市のホームページを見た時に「現象」として起こっていることは、20代後半の女性や30代前半の女性あたりの年代の方は、市外、端的に言うとも徳島市と阿南市にかなり流出している。これは何かと言うと、やはり子育て支援。医療費とかの関係もあると思うが、その辺の手厚さの問題で減少していることが予測される。教育委員会だけでなく「横断的なチーム」を作ってこの少子化の問題を考える必要があるのではないかと。児童福祉課、秘書企画課あたりは当然として、この流出している原因に何らかの手を打たないと、もっと加速度的に若い女性の方と子どもの数が減少していくのではないかと思ったので、その辺を総合的に行政としてお考えいただけたら。

通学支援に関してだが、保護者の方に余計な手間暇をいかにかけずにこういった手段を講じられるかを、もっと具体的などころで、タイミングが合ったところでお考えいただけたら。

廃校になった学校の利用状況については、大体、社会体育で使われているということだが、少子化に伴い高齢化してくると、既存の介護系サービスの利用だけでは及ばない方もいたりするので、そういった方が使えるような方向性であるとか、あるいは、何らかの商業

施設としての活用の仕方も一つあるのではないか。生活インフラの整備という点も勘案しながら廃校の利用ということを御検討いただけたら。

○「学校再編による学校数」については11校を3校にすると、1学年の生徒数を35名、もっと少ない所も全国的にあるのではないかと思うが。結局、根本的には、何人でなければいけないという問題ではないと思う。国と現場とは相当ズレがあるのではないか。生徒数については発想の転換をしてもらい運営をするようお願いしたい。

それと、この市の人口について。大体6割くらいになると。市も結局、人口が減ってきたら財政的に税収も減るので、後々お金がかからないような建物にして欲しい。

○この坂野地域にどのような周知をしたのか。たった11名。11名で、説明会終わりましたので学校再編を推進していきます、という形を取っていくつもりか。

→（回答）

各11小学校区で説明会をするに当たって、各小学校の子どもさん全ての方に案内文書を配布し各家庭に届くようにした。それと、市内には小学校の他にも就学前の子どもさんが通う幼稚園、保育所、認定こども園があるので、そこに通う子どもさん方に案内文書を配布させていただいた。地域の方には、6月の公民館館長さんの研修の機会に、公民館館長さん宛に複数配布した。その他にも広報誌で扱ったが、極力奮って参加をいただけるよう策は講じたわけだが、結果として、参加の方が十数名ということで、おっしゃるようなところもあつたかも分からない。

ただ、こういった形で「基本計画（案）」を教育委員会が策定している現実もあるので、可能な限り説明申し上げてご理解いただくスタンスなので、よろしくお願ひしたいと思う。

○地域住民は基本。たった11人を相手に説明会をしたとして、これで今後推進していく方法を取るのかと聞いている。

→（回答）

教育委員会としては、教育環境をやはり良くしたいということで、「基本計画（案）」でお示しをしている部分については「推進していきたい」というスタンスに変わらない。おっしゃられることはそのとおりかとは思いますが、広報誌でもこういった形でお示ししている。今後、「パブリックコメント」で計画についての意見をいただけるような手続きを取るよう考えているので、そういった手続き等を踏まえ計画策定に向け努力していきたい。

○とにかく、各地域において住民の皆さんの意向をきちんと踏まえてこの学校再編等についてきちんとしていく。ぐるっと回ってきたからこれで終わりというような問題ではないと思う。中学校について前も一般質問で言ったが、距離が6kmある。スクールバスと言っても、文科省にしたら「6km以内だったらスクールバスは出せません」って。送り出す親

御さんの気持ちになったらどうか。まして、今の南中学校については、実際、あそこが一番危ない津波が来る場所。そういう場所で建設ありきでして、教育委員会としてはただ単に学校再編やったらいいというような、例えば、11校を3校にしたらいい、2校にしたらいいと簡単に言うが、実態としては交通の支援という問題が出ている。きちんと一つずつ皆さんの承認をもらわずに「はい、行きますよ」と。そういうような観点しかないのだから。それで学校再編できるのか。

→ (回答)

皆さんも考えてもらえれば分かると思うが、「再編」というのはいろんな思いがあるから、いろんな人に意見を聞いて集約をしていくと。今日はその第一歩。「基本計画(案)」があって、今状況としてこういうお話をさせてもらい、そして今具体的に参加者の方からも踏み込んだ教育環境というものをもうちょっと考えるべきでないのかなど。スクールバスの件に関しては、単にスクールバスというだけの対応ではなかなか利用する保護者の方の意にはそぐわないという、ここだけでなく違う場でもいろんな意見を承るのが今日で、坂野小学校区が9番目の場であると。そして、そういう声を聞いた上で、さらには担当の方からも説明したけど、「パブリックコメント」によって参加できていない人からの意見も聞いた上で、それを集約し、もちろん議会にも説明をさせてもらい意見を聞いた上で、我々はその具体的な計画を教育委員会の方で原案を作って、議会にも説明させてもらって、そして出来上がったものはまた来年度、今は具体的にどこどこがいつまでにどうなるというふうな計画ではないが、それを求めて今こういう場を設定させていただいている。「これで終わりです」とかいうのではなく、スタートしたところでそれぞれの地域での声を聞いた上で、集約して次年度につなげていくと。そういう面で御理解をいただけたらと思う。

○今、わが市には160億も余って借金がある。ごみ問題についても35億円。もう200億になっていくような状態で、今後、小学校の再編等についていろいろと話をしても、次から次に箱物を作っていくことで、建設費等その他いっぱい出てきたらどうするのか。まして、廃校と言っただけではいけないけど、そういう学校がいっぱい出てくる。

もう一つは、学校教員がいる。教員を削減して、教育委員会にどれほどのメリットがあるのか。

それともう一つは、箱物を作って小松島市の財政が今後持つのか。

それともう一つ、交通支援の問題。文科省は、6km以内だったら不要としている。南の小学校だけでも、櫛淵、立江、新開、坂野、和田島の5校あるが、どういう所でどういう建設をしていくつもりなのか。

→ (回答)

まず1点目、教員を削減したらどういうメリットがあるのかという話については、教員は徳島県の教育委員会で採用されているので、人件費は市とは全く関係はない。だから、そういった人件費のメリット云々については、市は当然算出をしない。

それと2点目、市としてもいろんな事業がある中で学校建設には非常に多額の費用がかかるが、大丈夫かといった話。学校施設は非常にもう既に老朽しているので、現状でも、今の施設に対しては投資をしていかなければならない時期が当然来ることを勘案する中で、新しい学校をどのタイミングでどの時期にするのがいいかを、財政支出を伴う時期というのが当然あると思うが、そういったことも踏まえて考えていかざるを得ない。

3点目、通学支援の話。「通学支援」は当然どういった支援の形がいいのかどうかをこれから考えていかなければならないところと思う。おっしゃるように距離が離れている。南中学校は6km。小学校の児童さんだったら尚更「歩いて行きにくい」となってしまうかと思うので、当然、通学支援を実施する場合はそういうことを踏まえて、ということになるかと思うが、まだ今のところでどういったことがいいのかということについては、保護者の方も含めて考えていかなければならないと認識はしているので、その辺御了解をいただきたい。

○地域の住民として、坂野小学校がなくなったらどうなるんだと。中学校がなくなり、小学校もなくなったらどうなるかと思ひ、そういう状態で、私は「反対」ということで言うてやろうと思ひてやってきた。ところが、どこどこが合併してとか、まだそんな状態ではないらしい。11が3つになると言ったらもう、ちょっと…。

○率直に言ひて、坂野小学校はどうなるのか。今のところどんな計画をしているかを、言えるか言えないか分からないが、来ている人はそれが一番だと思ひ。坂野はどこと合併するのか、榎淵まで入れるとか、お聞かせ願ひたい。

→ (回答)

「まだこれから」というのが正味のところ。地域に行けば「どうなるの」という話はある。くれぐれも誤解がないようにというところだが、「基本計画(案)」では、学校再編に対する基本的な考え方をお示ししている。私ども教育委員会としては、子どもさんの数が非常に少なくなることが十分考えられる中で、小学校には100年とかの歴史があることは当然存じているが、今の状態を保つことができなくなる、というところを一番恐れている。そういったことを踏まえながら、基本計画でも7項目設け、場所、学校数、配慮すべきことなどを7つの基本の方針としてお示しさせていただいていると。

今回はそういった考え方をまず原案として出させていただき、地域の方々の考え方やいろいろ御意見でも当然構わないので伺うと。最終的には、各11小学校とも詳細は「実施計画」でお示しする形になろうかと考えているので、今たちまち小学校ごとにどういふ原案があつてどうなるのか、という状況ではないということでお理解いただきたい。

○はっきり申すが、もう少し町内に周知をしてほしい。10人やそこらに説明し、それで教育委員会としてはこんなんやってきたよ、これから推進派で頑張るよと。こうなつては困ると私は思っている。